

Z会進学教室 葛西通信 8月号

葛西教室に通う本科生の皆さんは、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切にし、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

夏の特別企画講演会

講演会レポート

「難関私立高校の先輩が語る合格の決め手」

「都立トップ高校の先輩が語る合格の決め手」

7月16日(日)、7月17日(月祝)、毎年夏に行う講演会「先輩が語る合格の決め手」が行われました。今年の3月に葛西教室を巣立っていった高校1年生、計14名が集まってくれました。高校生になり少し大人びた卒業生たちは、大教室をいっぱいにした生徒、保護者様の前で、およそ2時間、笑いあり、涙ありの話をしてくれました。

1年前までは一生徒として通っていた14名の卒業生。彼らの話を聞いて驚きました。人前でこんなに堂々と話すことができる生徒たちだったとは…！なんせ生徒として通っていた頃は黙々と机に向かって勉強していたイメージしかなかったものですから。受験を通して一回りも二回りも成長したのだなあとしみじみ感じました。

今回集まってくれた卒業生の多くが話していましたが、葛西教室に通っていた時に、自らもこの夏の「先輩が語る合格の決め手」の講演会に参加していたとのことでした。先輩たちの話を聞いて「自分もこんな先輩になりたい」と思って勉強に打ち込み、1年後、先輩が語る講演会で自らが話している…。さて、今年この講演会に参加した生徒たちの中で、来年以降、話をする先輩として誰が来てくれるのか。今からとても楽しみです。

今回の講演会をずっと楽しみにしていた葛西教室の生徒も非常に多く、「○○先輩のお話がぜひ聞きたいです！」と言って当日は一番前の席をしっかりとキープするとても熱心な生徒も見られました。講演会中の質疑応答はもちろん、終了後にも先輩たちのまわりには質問の列ができており、関心の高さがうかがえました。保護者様のみで参加された方も多かったのですが、アンケートには「子どもも連れてきて一緒に聞かせれば良かった」というものもちらほら見られました。年の離れた親や先生などの大人の話よりも、年の近い高校生の先輩の話のほうが時として心に響く、きっとそういうこともあるのでしょう。そういったことも踏まえて、この講演会の良さなのかもしれません。

来年もこの講演会は開催する予定です。皆さま、ぜひお越しくださいませ。



講演者からのメッセージ

J・Kくん 慶應義塾志木高校 1年生

Z会葛西教室に通われている受験生の皆さん、毎日勉強お疲れ様です。これからやって来る受験に対して、皆さんの頭の片隅に置いておいてほしいことを簡単にお伝えしたいと思います。まず第一に「しょうがないと割り切る」ことです。受験勉強をするにあたっては、こなさねばならない問題集や課題は多いでしょう。ですが、それらには優先順位があるはずです。受験が近くなり時間がなくなると、何かを捨てる必要がでてきます。ですから、「これができないのはしょうがない」と割り切ってしまうでしょう。こうすることができないと、なすべきこと全てが中途半端になり、結局失敗します。取捨選択が大事です。そして第二に、「楽しむ、面白い」ことです。受験は辛く厳しいものです。苦手が克服できず、逃げたくなることもあるでしょう。そんな時は、一瞬だけ我慢して問題と向き合ってください。そして、その問題の面白さを発見しようと努力してください。このことの継続が、本番の試験で生きてきます。試験を楽しめれば緊張なんて怖くありません。「楽しむ」ことは将来でも役に立つと思います。以上の二つ、ささいなことですが少しでも「良さそう!」と思った方はぜひ実践してみてください。皆さんのご健闘をお祈りしています。

Y・Sくん 青山学院高校 1年生

今、遊びたいと思っている人も、受験が終わればいくらでも遊べます。是非、貴重な高校受験を後悔のないように、頑張って勉強してください。

K・Hくん 中央大学杉並高校 1年生

夏休みがいよいよ始まりそれと共に勝負の夏が始まります。ここでどれだけがんばれるかが本当に合格に直結します。がんばってください。僕自身受験を終えて、夏休みは苦手を克服するチャンスだと思ったので、ぜひこの時間を有効活用してください。最後に、努力は自分を裏切りません。自分の欲に打ち勝ち、だれよりもがんばったと思えるくらい努力してください(長妻先生に言われた言葉です)。そうすればきっと自分が行きたい高校があなたを待っています。自分たちの後輩である葛西の生徒が無事に志望校に受かることを心より望んでいます。よければ中杉も見に来てください。

K・Hくん ICU高校 1年生

高校受験は頑張ればすぐ終わるので全力を出してください!!夏休み、毎日自習室に行って先生にたくさん質問しよう。苦手克服のチャンスです。頑張りましょう。

A・Tくん ICU高校 1年生

私には、受験生に守ってほしい2つのポイントがあります。

①葛西通信に書いてある4ヶ条を守ること

→特に、4番は意識してやりましょう。(他は言わずもがな)

先生に遠慮なくわからないことを質問することは、自分の疑問を解決するのに最も良い方法にもなり、また、先生とのコミュニケーションの礎になります。

勇気を出して頑張ろう!!

②休憩は、時間に制約のあるものにする

→ダメな例：携帯をイジる、本屋に入り浸るなど。

目安としては10~15分に収束するようにがんばりましょう。(後悔するゾ!)

教室長の長妻先生からは「何もしない時間」をつくと良いと私はアドバイスをもらいました。1日24時間は有限で、貴重なものなので、無駄にしないように。(私もがんばります。)

2つの教訓(?)は私の後悔まみれの受験期からのものです。人によっては初めての人生選択になるこの高校受験、自分の意志を持って決断し、最後には笑えるようにしてください。応援しています。

M・Kさん 日比谷高校 1年生

私が受験生の皆さんに伝えたいのは、コツコツと努力をし続けることが大事だということです。私は中学時代に吹奏楽部に所属していて、まわりの子が部活を引退して受験勉強に専念している中、11月まで部活を続けていました。この期間は勉強に置いていかれそうで、とても不安でした。それでも何とかついていけたのは、コツコツと勉強を進めていたからです。Z会の授業の予習、復習、また内申対策として定期考査の勉強を地道に続けることが重要です。今、高校に入学して毎日がとても楽しいです。この充実した日々があるのは、受験期に踏ん張った自分がいるからだと思います。皆さん、未来の自分のために、今を頑張ってください。応援しています。

C・Kさん 戸山高校 1年生

中学生の皆さん、受験勉強お疲れ様です。1、2、3年生どの学年の人にも言えることは、コツコツ丁寧に勉強することが大切だということです。でも、勉強をずっとするという事はなかなかできることではないと思います。私も実際にはできませんでした。そんな時には少し一休みすることも大切です。また、部活動や委員会などで忙しい毎日を送っている人も多いと思います。私も学校では、たくさんのものに所属していたり、行事にも積極的に参加していたりしました。勉強との両立は大変だったけれど、その経験はその時しか得られない大切な思い出になるし、受験を支えてくれるものになると思います。だから、勉強も頑張るけれどぜひその他のことも頑張してほしいなと思います。受験は大変だけど、自分が受かって志望の高校に行けたらとても楽しい毎日が待っています。今、戸山高校を志望している人がいたら、4月に会えることを楽しみにしています。応援しています! Z会を信じて頑張ってください。

H・Dさん 日比谷高校 1年生

本番直前になると、緊張・不安になることもあると思います。ですが、緊張したり不安になったりするの
は、そのことがあなたにとって価値のある「モノ」だからです。そのことに挑戦する自分を誇りに思っ
てください！夏休みは苦手教科(特に3教科)の基礎固めをする最後のチャンスだと思います(私はそのチャン
スを逃してしまいました)。今の自分に出来ることを着実に積み上げてください。最後に、高校生活は、予想
以上にすごく楽しくて充実しています！憧れの高校に通学している自分を思い浮かべて受験を乗り越えて
ください。皆さんのご健闘を願っています。

R・Mくん 日比谷高校 1年生

これから戦いに臨んでいく中学生の皆さん。伝えたいことが大きく2つあります。1つ目は、「内申点は
しっかりとる」ということです。都立入試の合計得点では、内申点と入試得点が1000点満点中3：7の割
合です。内申点は学校からの課題を確実にこなして、定期テストである程度の点数を取ればなんとかなるか
もしれないので、確実に取っておいた方が良いでしょう。されど3割でも大きいです。2つ目は、地道な努
力を重ねることです。うさぎと亀の話のように、怠けてばかりでいるうさぎは、決して亀には勝てない。「や
るときはやる、俺(私)は『やればできる子』だから」と思っている人は、努力家に決して勝てない。だから
中学生の皆さん、地道にコツコツと努力する亀でありながら、うさぎのようにグングン先へ行く、そんな人
になってください。受験生になって、1月、2月を迎えたとき、輝かしい成果を残して「あたたかい」春が
あなたたちに訪れることを心からお祈りしています。

S・Tくん 青山高校 1年生

受験勉強はやることも多いし、大変だと思いますが、勉強ばかりせずに、必ず休みの時間を自分に設けて
ください。私も受験直前はかなり追いつめられていて、ある日どうしても勉強したくなくなったので、その
日は一切勉強をせず友人と遊びました。しかし、そのおかげで気分がリフレッシュでき、より一層勉強に身
が入り、受験を乗り越えることができました。受験を突破するためには、受験をする人自身が良好であるこ
とが一番重要だと思います。自分を大事にして頑張ってください！

K・Mくん 日比谷高校 1年生

勉強において、一番重要なことは「復習」だと思います。復習は、授業で習ったことを定着させる唯一の
方法です。同じ問題を解くことは、決して楽しいことではないと思いますが、実力をつけるためには、一度
やったことがある問題を何も見ず(テキストなど)に解けるようにしておくのが最善策だと思います。これは、
葛西教室に通う全員の人にやってほしいことです。受験生の皆さんには、過去問などで思うように点が取れ
ないときは、色々な方法を模索し、自分に合った方法を見つけるチャンスだと思い、へこまず乗り越えてほ
しいです。これから先の受験シーズンに向け、不安も感じ始めるでしょうが、いつも通りやるべきことをこ
なしてください。苦しい時期こそ、一番実力がつきます。皆さんの健闘を祈ります。

R・Nさん 日比谷高校 1年生

受験に一番大事なことは、絶対あきらめないことです。今、問題が解けなくても、Z会の先生方についてひたすら頑張れば、必ずできるようになります！先生方を信じて、自分を信じて、最後までとことんやり続けてください。

M・Yさん 都立西高校 1年生

これから夏休みが始まりますが、夏休みは集中して勉強する絶好の機会です。遊びつつも、自分の苦手な範囲を徹底的にやったり得意なところを伸ばしたりして、塾も積極的に活用して9月からの勉強で良いスタートをきれるように頑張ってください。また、効率の良い勉強や休憩の仕方、やる気の出し方は人それぞれ違います。壁にぶつかって勉強が辛くなったりする時も続けていけるようなやり方をぜひ見つけてほしいです。結果が出ないときが続いても、あきらめずにコツコツ努力していれば、いつか本当に報われる時が来るので、落ち込んだ後はできるだけ前向きに考えると良いです。失敗や挫折から学ぶこと・気づかされることは多いので、それらを恐れないで積極的にぶつかっていくことをおすすめします。最後に、高校は自分が3年間過ごし、これからの人生に大きな影響を与える場所なので、ぜひ、自分に合いそうな学校を慎重に選んでほしいです。

M・Kさん 日比谷高校 1年生

「夏を制する者は受験を制す」と言いますが、実際のところ、何をどうすればいいのかわからないことだらけで、とても不安だと思います。私もそうでした。中3の夏を乗り越えた私の意見ですが、夏は無理に頑張って難しいテキストに取り組むより、塾の予習、復習や与えられた課題、そして何よりも今まで学習したすべての範囲の復習や確認をすることが一番だと思います。基本的なことを積み重ねていけば、必ず力は伸びます。今は不安がたくさんあり、辛いかもしれませんが、その分受かった時の喜びは大きいです。夏なんてあっという間に過ぎていきます。不安に苦しみ、迷うよりは、実際に取り組んでみたほうが良いと思います！！応援しています。

Z会OBより

夏の特別企画講演会

「最難関大入試研究会 ～親子で考える、文理選択と選択科目の
選び方～」の講演者に手記を寄せていただきました。

Z会進学教室卒業生 東京大学理科一類1年 M・Aくん

はじめまして。東京大学理科一類一年のM・Aです。「突然知らない人が来た…」と思う方もいるかもしれませんが。一応葛西教室とのつながりを書くと、私は中学三年生の高校受験のときに、今はこの教室の塾長である長妻先生に御茶ノ水教室で国語を習っていました。この間、その縁があって葛西教室での文理選択に関するイベントに参加しました。

何か書いてくれないか、と頼まれて今この文章を書いているわけですが、何を書こうか決めないままに書き始めています。特に思いつかないので、まあ大学生活についてでも書こうかなと思います。

中高生の皆さんの中には、大学生活は暇であるということを知ったことがある人も多いでしょう。私も大学生活は悠々自適な生活を想像していました。しかしながら、私の大学はそうではありませんでした。現実はその真逆で、授業に苦しめられる日々です。そのような授業を列挙すると、英語二列(授業中は全て英語でコミュニケーションをとる)、第二外国語のフランス語、英語中級(英語でディベート)等々。基本的にどの授業も授業内での活動のみならず、課外活動として準備(資料集め等)を行うことが自明の前提になっている節があります。特につらかったのは英語二列。毎週宿題が出されるのですが、その内容は

- ・ 授業について調べたことなどをまとめて、英語で約二分話す
- ・ その様子をスマホなどのカメラでビデオ撮影して、担当の教官に送る

というものです。東大生の間では、これは「自撮りビデオ」と呼ばれています。原稿を英語で考え、それを英語で話す、という練習をしているとすぐに3時間くらい経ってしまいます。そもそも自撮りビデオを送ることが学生にとって罰ゲームだし、それを見なければならぬ教官にとっても罰ゲームです。そういえば、私のクラスの課題はたった2分のビデオで済みましたが、実は担当教官によってまちまちで、友人のクラスでは10分以上のビデオが要求されたそうです。その友人はかなりストレスを抱えていました(本当にかわいそう)。

秋になったら英語で論文を書く授業(理系はALESS,文系はALESA。英語で論文、というコンセプトは両者で同じ)が始まります。かなりストレスフルらしいです。あまりにストレスがたまった人がTwitterで「近所の商店のSALE SALE SALEと書かれた張り紙でALESAを思い出した」と言っているのを見ました。前途多難ですね。

とは言ってもまあ、やりたいことが何もできないというわけでもありません。今私は、自主的に数学の勉強をしています。所謂現代数学と呼ばれるものの入り口の入り口です。

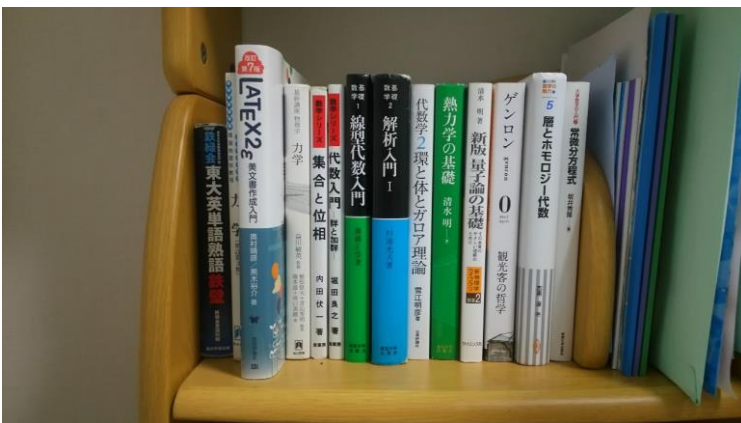
ここからは、私が数学を勉強しはじめたきっかけを軽く話しましょう。そもそも、私が現代数学に初めて触れたのは高校一年生のときでした。入学時に数学に興味があるみたいなことを口走ったら、クラスメイトに「現代数学どれくらい触れたことある？」と訊かれました。当時は現代数学という言葉も知らなかったの

で、「???'という気持ちになりながら数学科学研究会(という名前の部活)に入り、彼(のちに尋常ではないほど賢い人だと知った)に勧められて内田「集合と位相」という本を読み始めました。ほぼ何も分らなかったです。とりあえず前半部分だけ読めと言われたので前半だけなんとか読み切りました。つらかったのでしばらく数学からは離れていたのですが、あるとき数研の予算で買った森田「代数概論」という本を、例の彼に「読めば?」と言われて読んでみました。今ではその本の内容は何も記憶に残っていません。ここまで来て私は完全に数学に挫折し、自分には数学の才能がないんだなあと思いつつ、数研と兼部していた卓球部に入り浸って卓球ばかりする高校生活を送っていました。

話は飛んで、大学受験が終わってちょうど暇な頃、あまりに暇だったので私は数学の勉強を自主的に進めることにしました。なぜ始めたのかと言われればあまり明確な回答はできませんが、おそらく高校時代に経験した現代数学に少し惹かれていたのでしょう。私は、友人(さっきのとは別の人)の勧めもあり齋藤正彦「線型代数入門」を読み始めました。この本は初学者向けの本で、実際解説も丁寧でした。読み進めるうちに、気が付きました。「高校生のときに読んだ『代数概論』は初学者向けの本ではなかった」、「そういえばこの本を勧めてきた彼は比類なき天才だった…」。初学者向けの本を読んでこなかったことが高校生時代の間違いであったようです。今では、自分の実力に合わせて本を選んでいきます。

ここまで長々と自分語りをしてきましたが、いくつか中高生の皆さんにお伝えできることがあると思います。それは、なんでもいいから色々なことに手を伸ばしてほしいということです。今私は数学を勉強しているわけですが、そのきっかけは明らかに高校時代の経験にあります。当時の自分は大学生になってからこんなに勉強するとは思っていなかったでしょう(ちなみに数学に限らなくても、大学生活が今までで最も忙しいので、大学生になってからが一番勉強しています)。だから、きっかけを作っておくことは損にはならないと思います。

もう一つ私にとって大事だったことは、環境です。まず、高校時代に、既に数学を学問として学んでいる人がいた。大学には、そのような人が周りにたくさんいる(今までさんざん東大のことをdisってきましたが、刺激的な学生が多いことは大きなアドバンテージです)。このような環境にいた・いるからこそモチベーションが生まれています。その意味で、特に中学生には良い高校に入ってほしいと思います(当然「良い」、というのは人それぞれですからそこを吟味すべきではありますが)。能動性は大事なのですが、環境が



本棚。一冊だけ受験参考書が混じっている。

人を形作る、ということはより根本的なことのように感じます。

なんか良い感じにまとまったでしょうか。ちなみに今私は、包装が破られていない一年前の漫画雑誌を見つけて複雑な気持ちになっています。

スケジュール

※教室は午前9時には開いています。朝の時間も上手に利用しましょう♪体調管理に気を付けてね！

月	日	曜	受付時間	授業・テスト・模試など※Vもぎ・Wもぎ・駿台模試は3年生が任意で受ける模試です				保護者会・研究会など				
8	1	火	9 ~ 22	夏期講習(前期)	3K 講習④	2V 講習④	2K 講習④	1V 講習④				
	2	水	9 ~ 22	夏期講習(前期)	3K 講習⑤	2V 講習⑤	2K 講習⑤	1V 講習⑤				
	3	木		休室								
	4	金	9 ~ 21.5	夏期講習(前期)	3K 講習⑥	2V 講習⑥	2K 講習⑥	1V 講習⑥				
	5	土	9 ~ 21.5	夏期講習(前期)	3K 講習⑦	2V 講習⑦	2K 講習⑦	1V 講習⑦				
	6	日	9 ~ 21.5	夏期講習(前期)	3K 講習⑧	2V 講習⑧	2K 講習⑧	1V 講習⑧				
	7	月	9 ~ 21.5	夏期講習(前期)	3K 講習⑨	2V 講習⑨	2K 講習⑨	1V 講習⑨				
	8	火	9 ~ 21.5	夏期講習(前期) 確認テスト	3K 確認テスト	2V 確認テスト	2K 確認テスト	1V 確認テスト				
	9	水	9 ~ 20	休講								
	10	木		休室								
	11	金		休室								
	12	土		休室								
	13	日		休室								
	14	月	9 ~ 21.5	夏期講習(後期)	3K 実戦演習①	2V A日程 実戦演習①	2K A日程 実戦演習①	1V A日程 実戦演習①				
	15	火	9 ~ 21.5	夏期講習(後期)	3K 実戦演習②	2V A日程 実戦演習②	2K A日程 実戦演習②	1V A日程 実戦演習②				
	16	水	9 ~ 21.5	夏期講習(後期)	3K 実戦演習③	2V A日程 実戦演習③	2K A日程 実戦演習③	1V A日程 実戦演習③				
	17	木	9 ~ 21.5	夏期講習(後期)	3K 実戦演習④	2V A日程 実戦演習④	2K A日程 実戦演習④	1V A日程 実戦演習④				
	18	金	9 ~ 21.5	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑤	2V A日程 実戦演習⑤	2K A日程 実戦演習⑤	1V A日程 実戦演習⑤				
	19	土		休室								
	20	日	9 ~ 21.5	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑥	2V B日程 実戦演習①	2K B日程 実戦演習①	1V B日程 実戦演習①				
	21	月	9 ~ 21.5	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑦	2V B日程 実戦演習②	2K B日程 実戦演習②	1V B日程 実戦演習②				
	22	火	9 ~ 21.5	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑧	2V B日程 実戦演習③	2K B日程 実戦演習③	1V B日程 実戦演習③				
	23	水	9 ~ 21.5	夏期講習(後期)	3K 実戦演習⑨	2V B日程 実戦演習④	2K B日程 実戦演習④	1V B日程 実戦演習④				
	24	木	9 ~ 21.5	夏期講習(後期) 実力テスト	3K 実力テスト	2V B日程 実戦演習⑤	2K B日程 実戦演習⑤	1V B日程 実戦演習⑤				
	25	金	10 ~ 21	休講								
	26	土	9 ~ 20	休講	中3 模試 自校作成テスト						夏期講習報告会 一般生対象	
	27	日	9 ~ 20	休講			第2回 駿台模試	Vもぎ(千葉)	Wもぎ(東京)		夏期講習報告会 一般生対象	
	28	月	14 ~ 22	休講								
	29	火	14 ~ 22	休講								
	30	水	14 ~ 22	休講								
	31	木		休室								
9	1	金	14 ~ 22	休講								
	2	土	14 ~ 22	休講								
	3	日	10 ~ 22	9月度①					私立Vもぎ			

Z会の教室

〒134-0084 江戸川区東葛西 6-2-3 第三須三ビル 6階 TEL03-5878-0844

Z会進学教室 葛西教室

受付時間 平日 14:00~22:00 日曜日・講習中 10:00~20:00

『葛西通信』の記事(バックナンバー)はWebからもご覧いただけます。

Z会 葛西 検索